

JP083 鳥島 (とりしま)

東京都：鳥島

位置	N 30° 29′ E 140° 18′
面積	453ha

環境構成【火山地形（島嶼）／樹林（照葉樹林）】

鳥島（面積 0.048 km²）は、東京から約 600 km 南に位置する火山島である。かつては、アホウドリが島を覆うほど多数繁殖していたが、明治維新後、羽毛採取のための乱獲が行われ、その数は激減した。乱獲はアホウドリ採取禁止となる 1933 年まで続き、年間 20 万羽、推定約 500 万羽が殺された。その後、一度は絶滅宣言が出されたが、1951 年、鳥島でごく少数が再発見された。その後 60 年以上にわたり保護活動が続けられ、現在では約 3,500 羽にまで回復している。同島では、このほか、クロアシアホウドリ、カンムリウミスズメも繁殖している。

選定理由

A1	アホウドリ・クロアシアホウドリ・カンムリウミスズメ
A4i	アホウドリ

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10 パーセント未満）である

<その他>

国指定天然記念物鳥島

保全への脅威

- ・鳥島は火山島であるため、噴火活動によりアホウドリのコロニーが大きく影響を受ける可能性がある。そのため、小笠原諸島の鴛島への新たなコロニー移設がアホウドリ保護増殖事業により行われている。
- ・移入種のクマネズミによるオーストンウミツバメの卵の食害が報告されている。オナガミズナギドリについては捕食を受ける可能性がある。
- ・急傾斜な繁殖地への土砂流入がかつて起き、東京都等により砂防工事やハチジョウススキの植栽などによる対策がこれまでに取られてきている。今後も生じる可能性はある。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
増えている：アホウドリとクロアシアホウドリについては増加傾向。カンムリウミスズメについては個体数の増減は不明。
- IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
東邦大学メディアネットセンターウェブサイト及び東邦大学名誉教授・長谷川博氏、環境省生物多様性センター・モニタリングサイト 1000 海鳥調査報告書
- IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境変化：
変化はない
- IBA 選定基準種の生息環境：普通（70～90%が最適の状態）
- IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

- 環境管理：実施者（東京都）
内容：繁殖地における土砂流出を防ぐための砂防工事やハチジョウススキの植栽を実施。
- 外来種のコントロール：実施者（環境省関東地方事務所）
内容：2013 年からオーストンウミツバメの繁殖エリア内で殺鼠剤の散布を開始している。
- モニタリング調査：実施者（東邦大学名誉教授・長谷川博氏、公益財団法人山階鳥類研究所）
内容：個体群のモニタリングを実施（東邦大学、環境省モニタリングサイト 1000 事業）

見られる鳥

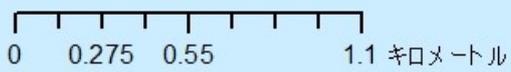
アホウドリ、クロアシアホウドリ、コアホウドリ、カンムリウミスズメ、オーストンウミツバメ、オナガミズナギドリが繁殖している。

* 鳥島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

関連団体・自治体・施設等

- 東邦大学メディアネットセンター（アホウドリ復活への軌跡）



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community